

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:2022年2月28日

事業所名:なかよし園

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・感染症拡大防止のため、二部屋に分かれるなど、距離が取れるように環境設定を行い、活動している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・基準よりも、子どもに合わせて多い職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・療育の計画の打ち合わせを行い、療育後は振り返りを行い、職員間で情報の共有を心がけている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者向け評価表を実施して意向を把握し、改善すべき点は改善している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・評価の結果をホームページに公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか					
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・年間計画に添って実施し、質の向上に取り組んでいます。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの状態にあった検査方法で発達検査を実施し、書面で結果を保護者に渡して確認してもらいながら、次期の支援目標・内容の設定をしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・個々に応じた支援内容を立案し、チームで行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員間で協議し、年間計画の下、活動が固定しないように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか					
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・一人ひとりに合わせた対応が行えるように打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・必ず、振り返りを行い、今後に繋げている。	・SSTにおいては、専門療法士とのカンファレンスもやっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回、日誌や活動の記録、SSTについては専門療法士の評価を受けて記録し、今後に繋げている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・保護者や相談支援専門員と一緒に、見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその 子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画して いるか	○			・児童発達管理責任者 が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子 どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対 応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学校からの教育支援 計画をもとに、支援につ いての情報共有を行 い、連携を取っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子 どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互 理解に努めているか			○		・当園の児童発達支援事業所の卒園児が利用しており、 把握済みである。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障 害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまで の支援内容等の情報を提供する等しているか					
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等 の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・児童発達支援センター 主催の連絡会や研修会 に参加し、連携を図って いる。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない 子どもと活動する機会があるか	○			年2回実施し、交流 を楽しんでいる。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		・協議会開催の案内を受けていない。案 内があれば、参加したい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・親子送迎のため、前回の活動 の様子を入口に写真付きで貼 り出して閲覧してもらったり、当 日の様子は、簡単ではあるが、 口頭で伝えて、共通理解を得て いる。	・利用については、月1回である。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対 してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		・市教育委員会主催のペアレントトレーニングを受講して いる方もいる。	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に 応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・親子送迎のため、送迎 時に時間を取って個別 に相談を受けたりして いる。随時受けている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催す る等により、保護者同士の連携を支援しているか					
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を 整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情が あった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連 絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信して いるか	○			3ヶ月に一度、園だよりを作 成し、配布している。必要な 連絡は電話で行ったり、文 書で行っている。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			法人のプライバシーポリ シーがある。子どもに係る 職員、専門療法士は、誓約 書を書いてもらい周知して いる。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮をしているか	○			・直接、口頭で説明した り、子どもとの関わり方 を一緒に考えている。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれ た事業運営を図っているか		○			・計画は立てているが、コロナ禍の折り、招待がで きなかった。今後は、状況を見ながら実施してい きたい。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・緊急時対応マニュアルを作成し、対応できるようにしている。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・毎年、講師を依頼し、事例を伴った研修を行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				・保護者送迎のため、いつでも療育を参観できる。今後は、児童発達支援計画にも記載していきたい。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・入所時の面接の際にしっかりと職員が把握し、対応している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・記録簿を作成し、職員間で閲覧・検証し、改善策を検討している。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。